



重点事業評価シート 4-1-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	寄附金事業		担当課	企画創生課						
まちづくりの指針後 期間（最終年度R9） における位置づけ	重点目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり		【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	重点目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり				
	重点施策	4-1 地域産業の振興			重点施策	4-1 地域産業の振興				
	重点施策該当項目	②産業の活性化			重点施策該当項目	④産業の活性化				
重点事業の概要	ふるさと納税制度を活用し、地場製品の発掘やポータルサイト等でのPRを通して、本市への寄附を促進するとともに、本市の魅力発信を行う。									
重点事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	持続可能な行政運営のために			財源の確保			 			
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
ふるさと納税において年50件以上選択された事業所数	実績数	件	10	10	13	10	14	10	17	1年間で1事業者増やすことを目標とする。改訂後の大和高田市デジタル田園都市総合戦略の目標値より設定
寄附件数	実績数	件	4,738	5,000	5,751	5,000	8,121	5,000	8,500	
実質収支額	実績数	円	105,162,554	黒字	68,262,935	黒字	55,480,053	黒字	黒字	

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					
			指標	目標値	目標値									
1	ふるさと大和高田応援寄附金事業	事業費	96,208	80,273	78,469	850	5	4	5	A	事業者の販路拡大及び市の財源確保には大変重要な事業である。年々寄附額が減少傾向にあることが課題である。令和7年度は新規事業者の開拓を行い、返礼品を増やし、さらなる市の特産品PRに務める。			
		返礼品数	600	650	700									
2	その他経費	事業費	83	80	74									
3														
4														
事業費(決算額)の合計			96,291	80,353	78,543									
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		0	0	0									
	一般財源		96,291	80,353	78,543									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止) ↑

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 4-1-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	にぎわい事業		担当課	まち振興課						
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり	【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり					
	基本施策	4-1 地域産業の振興		基本施策	4-1 地域産業の振興					
				重点施策該当項目	-					
基本事業の概要	新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の鈍化や各種イベント等の中止により失われたまちのにぎわいを取り戻すため、大和高田市をにぎわせるイベントをおこなう。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいか)		SDGsアイコン					
	大和高田市に		にぎわいを創出したい。							
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
イベント参加人数	-	人	177	150	209	200	3,196	300	-	イベント参加者の増加は地域の活性化に繋がるため

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性					
			指標	目標値	目標値									
1	地域活性化業務委託事業	事業費	977	985	996	-	2	2	4	C	令和2年度～令和4年度のコロナ禍によって失われたまちのにぎわいを取り戻すために令和4年度より事業を開始したが、コロナ禍の収束とともに民間企業等の活力が戻ってきたために、事業の廃止をおこなった。	既に改善済み	×	
		実施回数	1	1	1									
2														
3														
4														
事業費(決算額)の合計			977	985	996									
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		0	0	0									
	一般財源		977	985	996									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)





【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額(千円)
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
令和2年度～令和4年度のコロナ禍によって失われたまちのにぎわいを取り戻すために令和4年度より事業を開始したが、コロナ禍の収束とともに民間企業等の活力が戻ってきたために、事業の廃止をおこなった。

重点事業評価シート 4-1-③

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	経営・創業支援事業			担当課	商工振興課						
まちづくりの指針後 期間（最終年度R 9）における位置づ け	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり				
	基本施策	4-1 地域産業の振興				基本施策	4-1 地域産業の振興				
	重点施策該当項目	②産業の活性化				重点施策該当項目	④産業の活性化				
重点事業の概要	市内創業者や新商品・サービス開発事業者に対する補助を通じて、創業及び事業発展を支援するとともに、広陵高田ビジネスサポートセンター（KoCo-Biz）※の運営委託事業により、市内事業者の経営課題解決を目指します。 ※令和2年度に広陵町と共同で開設した中小企業のための経営相談所で、創業、商品開発、販路開拓、情報発信など様々な課題の解決と共に売上向上を図るべく、域内企業への伴走型支援を行う。										
重点事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいか）					SDGsアイコン		
	市内事業者 （ビジネスサポートセンター事業は広陵町、参画近隣 市町の事業者も対象）			新しい事業者の増加、既存事業者の経営発展を実現し、地域経済の活性化を図る。					 		
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終 年度(R9)目標 値	目標設定の理 由・考え方	
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値			
ココBiz相談事業者数	相談件数をカウント(累計)	件	136(累計)	330	172(累計)	440	186(累計)	440	—	件数の増加が事業 発展及び創業の推 進につながるため	
PR出展者数	PR事業の出展者数をカウント	件	—	—	—	—	22	20	20		
新商品開発件数	補助金採択件数	件	3	3	2	2	2	2	2		
創業者数	創業支援計画に基づく調査	件	5	5	16	5	5	5	5		
事業所数	経済センサスによる	事業 所	2,312	2,312	2,312	2,312	2,312	2,312	2,312		

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期間最 終年度(R9)目 標値	評価視点			総合評価	令和7年 度時点での 改善事項 の実施 状況	重点 化評 価		
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		妥当 性	有効 性	効率 性				令和8年度 の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及 び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)
			指標	目標値	目標値									
1	ビジネスサポートセン ター運営事業	事業費	12,528	13,937	14,755	/	4	3	1	B	R5に実施した利用事業者アンケートの結果や利用事業者からの声によると、事業自体の満足度は高く、売上増加にも一定の効果が確認されたが、市の負担割合に一定の制約がある中で、事業の継続可能性を精査した結果、令和6年度末で終了することとした。	既に改善 済み	×	
		相談件数 (全地域・年 度ごと)	930	930	930									1,005
2	地域産業応援事業	事業費	/	/	870	/	5	3	4	A	R6年度はココBizマルシェを開催し、周辺地域に参加事業者の商品等をPRすることができた。R7以降は、百貨店等でのPR事業を行うとともに、大阪・関西万博開催に伴い、地元事業者を広く国内外にPRする。			
		出展者数	/	/	20									22
3	新商品開発支援補助 金	事業費	900	300	476	/	4	3	4	A	新商品を開発し、販路拡大に積極的に取り組む市内事業者を支援することで、地域産業の活性化を図った。継続して事業を実施する方向性だが、より有効な支援内容等を引き続き研究していく。			
		採択件数	3	2	2									3
4	創業促進補助金	事業費	0	0	600	/	4	3	4	A	市内での創業者を支援することで、地域経済の活性化や雇用の促進を図った。R5より商店街での創業に補助金額を上乗せしているが申請には至らず周知広報に努めたい。事業は継続予定。			
		採択件数	5	2	2									0
5	その他の経費	事業費	0	0	5,752	/								
事業費(決算額)の合計			13,428	14,237	22,453									
事業費(決算額)の 内訳			特定財源(国・県支出金、 市債など)	5,489	2,030	0								
			一般財源	7,939	12,207	22,453								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止) ↑

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
<p>ビジネスサポートセンター運営事業については、今後の財政状況等を鑑み、令和6年度末をもって事業を廃止(休止)した。今後は、一例としてよろず支援拠点や商工会議所等の同種支援施策と連携できるよう検討を進めていく。</p>

重点事業評価シート 4-1-④

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	雇用・労働に関する事業			担当課	商工振興課					
まちづくりの指針後 後期期間（最終年度R9） における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり		【参考】まちづくりの 指針前期期間（最終年度R5） における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり				
	基本施策	4-1 地域産業の振興			基本施策	4-1 地域産業の振興				
	重点施策該当項目	②産業の活性化			重点施策該当項目	④産業の活性化				
重点事業の概要	勤労青少年ホームの運営をはじめ労働者福祉及び雇用対策に取り組む団体へ運営補助を行うことで、就労機会の確保、雇用環境の改善、労働者福祉の向上を図り、地域の雇用拡大及び人材定着を目指します。									
重点事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン				
	市内労働者・市内事業者		労働者福祉の向上を図り、地域の雇用拡大及び人材定着を図る							
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
勤労委青少年ホーム利用人数	利用人数をカウント	人	1,668	5,062	2,195	5,062	2,225	5,062	—	コロナ禍前の実績値(令和元年度実績値)を目標とする
シルバー人材センター契約受注数	契約受注件数をカウント	件	902	951	837	951	739	900	900	コロナ後の実績値平均(令和3年度～令和5年度実績値の平均)を目標とする
移住支援金交付件数	交付件数をカウント	件	1	2	1	2	0	2	—	過去実績件数を上回ることを目標とする

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後後期期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		令和8年度の方向性	令和8年度の方向性	令和8年度の方向性				
			目標値	実績値	目標値								
1	勤労委青少年ホーム管理運営事業	事業費	6,138	6,529	6,504	0	0	0	2	C	設置根拠法(H27法改正)の改正により施設の設置目的を終えていること、対象である30歳未満の市民及び市内勤労者の利用が減少し、建物の老朽化も進んでいることから、今後の運営について検討中。	予算を伴わない改善に着手	△
		利用件数	759	759	759								
2	シルバー人材センター補助金	事業費	11,339	13,129	13,036	350	4	3	4	A	定年退職者や高齢者就業機会の確保、また生きがいの充実等福祉の増進を図るセンターの運営及び活力ある地域社会づくりを目指し、引き続きサポートを行う。		
		会員数	350	350	350								
3	中和地区労働者福祉協議会補助金	事業費	160	160	160	33	1	2	1	C	補助金を交付することで、労働者福祉に関する調査研究、文化活動や福利厚生等の体育活動等を実施、本市を含む中和地区の労働者福祉の向上に努めた。一方、各企業での福利厚生制度の充実という時勢もあり、市としての関与のあり方を検討する必要がある。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		会員数	23	23	23								
4	雇用対策協議会補助金	事業費	100	100	100	30	4	3	1	B	実施方法改善 会員企業やハローワーク大和高田管内の市町村からの負担金と本市からの補助金で運営しており、会員事業所の人材育成や福利厚生活動の推進を図った。R6から会員企業と県内高校との就職促進懇談会を実施する等、雇用促進施策の充実を図っていく。併せて、補助金の交付方法の見直しを図りつつ、段階的に予算の精査・縮減を検討する。	R7年度予算に計上し改善に着手	
		会員数	30	30	30								
5	移住支援金	事業費	100	100	0	0	1	2	4	C	現在、移住支援事業として実施しているのは移住支援金のみ。これまでの実績2件のうち、2件とも東京圏の会社にテレワーク形態で勤務を続ける方であり、地域の労働者確保や産業振興を達成するものではないため、R7より休止する。	既に改善済み	×
		移住相談件数	10	10	10								
事業費(決算額)の合計			17,837	20,018	19,800								
事業費(決算額)の内訳			特定財源(国・県支出金、市債など)	750	750	0							
			一般財源	17,087	19,268	19,800							

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
<p>勤労委青少年ホームについては、市内公共施設のファシリティマネジメントの観点から近い将来での施設廃止・除却を念頭に地元自治会や施設利用者との協議を進めている。</p> <p>移住支援金については、地域の労働者確保や産業振興といった当初の目的を達成するものではないため、R7より休止する。</p>

重点事業評価シート 4-1-⑤

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	商業活性化事業			担当課	商工振興課					
まちづくりの指針後 期間（最終年度R 9）における位置づ け	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり		【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり				
	基本施策	4-1 地域産業の振興			基本施策	4-1 地域産業の振興				
	重点施策該当項目	②産業の活性化			重点施策該当項目	④産業の活性化				
重点事業の概要	地域活性化事業への補助や商店街組合との共催イベントの実施、また商店街の空き店舗の利活用事業を行うことで、商業の活性化を図ります。									
重点事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	市内商店街・市内商業			活性化事業等を補助し、その効果を高める						
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
商店街におけるイベントの集客数	イベント来場者数をカウント	件	29,357	40,000	30,153	40,000	27,719	30,000	20,000	件数の増加が事業継続対策及び創業支援対策の推進につながるため

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性				
			指標	目標値	目標値								
			実績値	実績値	実績値								
1	商工業振興対策事業補助金	131	109	182		2	3	4	3	実施方法改善	数年間同じ内容のソフト事業が続くなどの課題を解決するため、R7.4に商都たかだ活性化事業補助金と統合する形で改正済。補助率を下げて上限額を上げることで、より規模と質の高い事業に活用されるよう内容を整理した。	予算を伴わない改善に着手	
2	高田活活まつり実行委員会補助金	1,673	1,424	1,496		—	1	0	0	統合、縮小、休廃止	商工会議所青年部を中心に地元商店街と市が運営しているが、商店街への効果は少なく、今後、本イベントのあり方の検討が必要。	R7年度予算に計上し改善に着手	△
3	高田おかげ祭り実行委員会補助金	2,608	2,000	2,000		20,000	3	4	3	実施方法改善	R6年度は5年ぶりに屋外でパレードを実施した。県外からの来場者も多く、地域の発展並びに商店街の活性化に大きく寄与する事業であるため継続して支援したいと考えるが、本市の財政状況等を鑑み、事業費(補助金)削減を検討する。	R7年度予算に計上し改善に着手	
4	商都たかだ活性化事業補助金	0	292	500		—	1	1	3	統合、縮小、休廃止	年2回の公募を行っている当補助金であるが、相談はあるものの申請に至る件数が少ない。類似の補助金(商工業振興対策事業補助金)と統合する。	予算を伴わない改善に着手	×
5	チャレンジショップ事業		913	1,033		900	4	4	4	現状維持	R6年11月から出店者が交代したが、堅調に事業を継続している。チャレンジショップへの来店者は同時に商店街への来訪者としてカウントできる。長らく空き店舗であった店を活用し、商店街に良い影響を与えられている。		
事業費(決算額)の合計			4,412	4,738	5,211								
事業費(決算額)の内訳			0	0	0								
			特定財源(国・県支出金、市債など)	0	0	0							
			一般財源	4,412	4,738	5,211							

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
<p>商工業振興対策事業補助金と商都たかだ活性化事業補助金はその目的や内容の一部に重複が認められたものであったため、事業を統合（商都たかだ補助金を廃止）し、より効果的に活用されるように内容を整理した。</p> <p>高田活活まつり実行委員会補助金については、補助金額を削減するとともに、当初の補助目的である商店街活性化に資する事業であるか否かを含め、再度R7年度で検討を行う。</p>

重点事業評価シート 4-1-⑥

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	金融支援事業			担当課	商工振興課					
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			
	基本施策	4-1 地域産業の振興				基本施策	4-1 地域産業の振興			
	重点施策該当項目	②産業の活性化				重点施策該当項目	④産業の活性化			
重点事業の概要	市内事業者や創業者に対し、融資にかかる保証料や利子を補給することで融資の負担を軽減します。									
重点事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	市内事業者			円滑な事業運営を促す						
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9)目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
保証決定件数	保証決定件数をカウント	件	101	75	74	120	135	120	103	
令和4～6年度の平均値										

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9)目標値	評価視点			総合評価	令和8年度の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価	
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性						
			指標	目標値	実績値										実績値
1	大和高田市制度融資事業	事業費	19,351	20,709	23,603	103	5	3	3	B	物価高騰及び賃上げの影響により事業者の負担が増える中、低利率・保証料負担ゼロで利用できる市制度融資は有効であるが、市の財政状況を鑑み、一部事業者負担にする等改善が必要である。	予算を伴わない改善に着手			
	保証決定件数	75	120	120											
		101	74	135											
事業費(決算額)の合計			19,351	20,709	23,603										
事業費(決算額)の内訳			特定財源(国・県支出金、市債など)	0	0	0									
			一般財源	19,351	20,709	23,603									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

重点事業評価シート 4-1-⑦

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	企業誘致事業			担当課	商工振興課					
まちづくりの指針後 期間（最終年度R9） における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			
	基本施策	4-1 地域産業の振興				基本施策	4-1 地域産業の振興			
	重点施策該当項目	②産業の活性化				重点施策該当項目	④産業の活性化			
重点事業の概要	工場や事業者等を新設・増設・移転する企業に対して、奨励金を交付します。									
重点事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	立地ニーズを有する企業			市内での工場等新設・増設・移転を促進し、地域 経済の活性化を図る						
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
交付件数	交付件数をカウント	件	2	1	1	1	0	1	1	制度を周知し、相 談件数を増やすこ とで交付件数の増 加につながるため

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期間最終 年度(R9)目 標値	評価視 点			総合評価	令和8年度 の方向性	評価視点、今後の方向性の判断理由及 び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年 度時点 の改善 事項の 実施 状況	重点 化評 価
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		妥当 性	有 効 性	効 率 性					
			指標	目標値	目標値									
			実績値	実績値	実績値									
1	商工業振興促進奨励 金	事業費	6,458	2,833	3,211	3	3	4	4	A	現状維持 「対象要件が厳しく利用しにくい」等々の 意見に対し、条件の緩和を行い対応し た。市内に企業を誘致するための重要な 事業であるため、件数増のための周知を 図る。			
		相談件数	3	3	3									
		事業費(決算額)の合計	6,458	2,833	3,211									
		事業費(決算額)の 内訳	特定財源(国・県支出金、 市債など)	0	0	0								
			一般財源	6,458	2,833	3,211								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)



【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 4-1-⑧

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	高田千本桜ライトアップ事業			担当課	商工振興課					
まちづくりの指針後 期間（最終年度R 9）における位置づ け	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづく り		【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり				
	基本施策	4-1 地域産業の振興			基本施策	4-1 地域産業の振興				
	重点施策該当項目				重点施策該当項目					
基本事業の概要	高田千本桜をライトアップすることで花見をより楽しんでいただき、市民の市への愛着を育むと同時に市外へ市の魅力を発信しま す。									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どうい状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	花見客			大和高田の魅力を感じてもらうことで 関係人口の増加を図りたい						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
来場者数	来場者数をカウント	件	78,000	50,000	71,000	50,000	59,000	50,000	50,000	関係人口の増加に 資する

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期間最終 年度(R9)目 標値	評価視 点			総合評価	令和7年 度時点 の改善 事項の 実施 状況	重点 化評 価
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		令和8年度 の 方向性	評価				
			指標	目標値	目標値				目標値			
			実績値	実績値	実績値		妥当 性	有効 性	効率 性			
1	高田千本桜ライトアップ 事業	事業費	3,687	3,538	5,043	50,000	4	3	2	実施方法改善	高田千本桜の花見客の安全面への配慮 を十分に行い、関係人口増加を目指し、 より効果的な事業実施について、検討を 続けていく。	
		来場者数	50,000	50,000	50,000					B		
		事業費(決算額)の合計	3,687	3,538	5,043							
	事業費(決算額)の 内訳	特定財源(国・県支出金、 市債など)	0	0	0							
		一般財源	3,687	3,538	5,043							

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度
			予算額(千円)
			目標値
1			
2			
3			

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

重点事業評価シート 4-1-⑨

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	農業振興事業			担当課	農業振興課（農業振興担当）					
まちづくりの指針後 期間（最終年度R9） における位置づけ	重点目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			【参考】まちづくりの 指針前期期間（最終 年度R5）における 位置づけ	重点目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			
	重点施策	4-1 地域産業の振興				重点施策	4-1 地域産業の振興			
	重点施策該当項目	②産業の活性化				重点施策該当項目	④産業の活性化			
重点事業の概要	地域農業の持続的発展を目指し、農業構造の安定化に向けて、農業環境の整備や団体等への補助金交付などの支援を行う。									
重点事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいか）			SDGsアイコン			
	農業従事者			農業経営を継続する						
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
農業法人数	-	法人	2	3	2	3	3	3	3	過去の実績に基づ いて設定
市特産野菜の取扱店 舗数	-	店舗	57	60	61	60	66	60	70	

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期間最終 年度(R9)目 標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及 び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年 度時点での 改善事項の 実施状況	重点化 評価	
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		令和8年度の 方向性	妥当性	有効性					効率性
			指標	目標値	目標値									
1	有害鳥獣対策事業	事業費	289	261	346	100	5	5	4	A	有害鳥獣に関する通報が増加傾向にあり、出動回数も年々増加している。引き続き地域の安全及び農業の安定に資するため事業を継続していく必要がある。			
		出動回数 (回)	80	100	100									
			112	114	240									
2	多面的機能発揮促進 事業	事業費	1,814	1,892	1,777	4,000	4	4	5	A	宅地等への転用による農地の減少に伴い交付金が減額している。今後は地域計画の策定により一定程度の農地を維持していく。			
		認定農地面積 (a)	6,600	6,600	6,600									
			6,532	6,515	6,032									
3	水田農業経営確立対 策事業	事業費	1,955	1,326	1,306	30	4	3	4	A	申請者数の減少に伴い、制度内容を見直しつつ支援の継続を行う。			
		申請件数 (件)	50	50	40									
			30	25	25									
4	農業団体支援事業	事業費	600	600	513	4	4	3	3	B	農業団体支援事業は、特産野菜のPRという目的を十分に達成しているが、業務の効率性を高める観点から、実施方法の改善を検討する。	R7年度 予算に計 上し改善 に着手		
		イベント回数	4	4	4									
			4	4	3									
5	その他の事業	事業費	1,111	1,424	1,631									
事業費(決算額)の合計			5,769	5,503	5,573									
事業費(決算額)の内訳			特定財源(国・県支出金、市債など)		2,846	2,650	2,122						○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止) ↑	
			一般財源		2,923	2,853	3,451							

【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

重点事業評価シート 4-1-⑩

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

重点事業名	農業委員会運営事務		担当課	農業委員会事務局						
まちづくりの指針後 期期間（最終年度R 9）における位置づ け	重点目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづく り	【参考】まちづくり の指針前期期間（最 終年度R5）におけ る位置づけ	重点目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり					
	重点施策	4-1 地域産業の振興		重点施策	4-2 農業の振興					
	重点施策該当項目	②産業の活性化		重点施策該当項目	④産業の活性化					
重点事業の概要	農地法に基づく許可申請・届出等を適正に処理することで利用関係を調整し、農地の集積や遊休農地の解消を進め、農地の適正な保全と効率的な利用を図る。そのために農業委員会の会議を適正かつ円滑に運営し、委員会の活動を広げ、農地台帳を整備・保管し農地に関する情報を整理する									
重点事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン				
	市民、農地の所有者及び耕作者、農地		農地の適正な保全、耕作者の地位の安定、農地の効率的な利用による農業生産の増大を図る。							
重点事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期期間最終 年度(R9)目標 値	目標値設定の理 由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
許可申請・届出の適正処理率	適正処理された許可申請・届出数 / 全申請・届出数 × 100	%	100	100	100	100	100	100	100	農地法に基づく許可申請・届出の処理に不適正な処理があつてはならない。

重点事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費 (千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指 針後期期間最 終年度(R9)目 標値	評価視点			総合評価 令和8年度の 方向性 評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及 び改善事項 (評価視点に基づき記載すること)	令和7年 度時点で の改善事 項の実施 状況	重点 化評 価
			決算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)		妥当 性	有効 性	効率 性				
			指標	目標値	目標値								
1	農業委員会各種会議 の開催	事業費	12,425	11,170	10,348	12回	5	5	5	A	農業委員会は合議体として意思決定を行うため、会議の開催が必須であり、引き続き適正かつ円滑な会議の運営を行う。		
		総会の開催 回数	12回	12回	12回								
		12回	12回	12回									
2	農業委員会広報誌の 発行	事業費	20	20	20	1回	5	5	4	A	農業委員会の活動内容を広報することは、円滑な活動に寄与するもので、広報誌の発行は欠かせず、引き続き誌面に工夫を加えて発行する。		
		広報誌の発 行回数	1回	1回	1回								
		1回	1回	1回									
3	農地台帳の整備・保管 業務	事業費	947	949	949	12回	5	5	5	A	農地台帳は農地法に基づき農地に関する情報を整備・保管したものであり、農業委員会運営の根幹をなすため、引き続き適正に業務を行う。		
		データの更 新回数	12回	12回	12回								
		12回	12回	12回									
4	その他の経費	事業費	351	534	470								
事業費(決算額)の合計			13,743	12,673	11,787								
事業費(決算額)の 内訳	特定財源(国・県支出金、 市債など)	6,066	5,669	4,644									
	一般財源	7,677	7,004	7,143									

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性

基本事業評価シート 4-2-①

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	市政情報発信事業			担当課	広報広聴課					
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり		【参考】まちづくりの指針前期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	6 自立と協働のまちづくり				
	基本施策	4-2 魅力発信の強化			基本施策	6-2 効率的な行政運営の推進				
					重点施策該当項目	—				
基本事業の概要	市内外に本市の魅力の広い周知や、市民生活に関わる行政情報周知のため、広報誌「やまとたかだ」の発行や市ホームページの運営、SNSなども活用し、市政情報発信を強化する									
基本事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいか)			SDGsアイコン			
	市民を含む全ての者			本市に魅力を感じてもらう						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9) 目標値	目標値設定の理由・考え方
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値		
市ホームページのアクセス数	Google Analyticsにより抽出	人	1,125,463	1,000,000	1,045,617	1,150,000	1,082,434	1,200,000	1,570,000	最終年度の目標値に関して、ホームページアクセス数は令和5年度比1.5倍に、LINE登録数は令和9年度人口予測ベースで約20%に設定(前回より継続)。公式総インプレッション数に関しては有料プランでないと同覧不可になった。
市外からのホームページアクセス数	Google Analyticsにより抽出	件	973,799	630,000	888,880	630,000	900,076	630,000	1,300,000	
子育てページアクセス数	Google Analyticsにより抽出	件	122,159	6,000	96,388	6,000	97,776	6,000	140,000	
市情報の発信手段数	広報誌、テレビ、ホームページ、LINE、X(旧Twitter)、YouTube、Instagramの計7コンテンツ。	数	5	4	6	4	7	4	7	
公式LINE登録者数	LINE Official Account Managerによる抽出	人	8,243	8,000	8,821	8,500	9,313	9,500	12,000	

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9) 目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性				
			指標	目標値	目標値								
1	広報誌「やまとたかだ」発行事業	事業費	18,869	18,710	21,292	12,000	4	3	2	B	実施方法改善 地域住民への情報伝達手段として妥当性が高く、特に高齢者などデジタル環境に不慣れな層への有効性が認められる。一方で、作成や配布に時間と労力を要するため効率性には課題があると考える。それでもなお、紙媒体を望む声が強固に存在することから、今後も継続して発行していくが、二次元コードやURLの使い方を工夫し、SNSやHPへ誘導する仕掛けづくりを強化していく。	予算を伴わない改善に着手	
		HP版広報誌やまとたかだのファイルDL数	801	2,014	10,110								
2	市ホームページ運営及びX及びLINE配信事業	事業費	1,059	1,642	2,447	300	5	5	4	A	現状維持 いずれも即座に情報発信が可能であり、特にXとLINEは費用をかずに運用できている面で効率性もよい。災害時にも適切で素早い情報発信が必要であるため、SNSの存在の周知もより広く行ってきたい。		○
		X及びLINE配信回数	58	278	340								
3	市政情報テレビ等情報発信事業	事業費	2,310	2,310	2,310	-	1	2	3	C	統合、縮小、休廃止 インターネットメディアの普及によりテレビの宣伝効果は薄れていると考える。テレビ放映にかける資源を見直し、より費用対効果の高いSNSなどに方向転換していく必要がある。	R8年度に改善に着手する予定	△
		放送回数及び動画コンテンツ数	40	40	40								
4	その他の経費	事業費	420	332	235	-							
			-	-	-								
事業費(決算額)の合計			22,658	22,994	26,284								
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		0	0	0								
	一般財源		22,658	22,994	26,284								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)




【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性
SNSでの配信については経費をかせずに、より見てもらいやすいように工夫していくことは可能なので、内容や方法をさらに検討しながらよりいっそう閲覧者を増やすようにする。テレビでの情報発信はSNSでの発信に比べコストは高いが一定数の固定的な閲覧者はいるので費用対効果を検討しながら重要案件を発信する際は利用するなど利用方法を改めていく。

基本事業評価シート 4-2-②

評価年度	令和7年度	対象事業年度	令和6年度
------	-------	--------	-------

基本事業名	観光推進事業			担当課	広報広聴課						
まちづくりの指針後期間（最終年度R9）における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり			【参考】まちづくりの指針前期間（最終年度R5）における位置づけ	基本目標	4 活気あふれるにぎわいのまちづくり				
	基本施策	4-2 魅力発信の強化				基本施策	4-3 観光の振興				
						重点施策該当項目					
基本事業の概要	本市の観光情報をPR・発信することでまちの魅力を知ってもらい、来訪者増加及び市民の郷土愛の醸成を図る。										
基本事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいか)				SDGsアイコン		
	市民を含むすべてのもの				本市の観光情報をPR・発信することでまちの魅力を知ってもらう						
基本事業評価指標	指標の算出方法等	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		後期間最終年度(R9) 目標値	目標値設定の理由・考え方	
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値			
観光ホームページ閲覧数	Google Analyticsにより抽出	人	45,392	14,000	73,172	50,000	72,687	70,000	100,000	ホームページ閲覧数は5年度、6年度は横ばいであるので、6年度実績の30%増加を目標としてさらなる内容の充実を図る。 バスツアー・おみちバスツアーなどの経費との兼ね合いもあり、バス2台での定員を目標とする。	
蓮のみちバスツアー参加者数	参加者数	人	84	160	86	160	98	160	160		

基本事業を構成する事務事業

番号	事務事業名	事業費(千円)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	まちづくりの指針後期間最終年度(R9) 目標値	評価視点			総合評価	評価視点、今後の方向性の判断理由及び改善事項(評価視点に基づき記載すること)	令和7年度時点での改善事項の実施状況	重点化評価
			決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)		妥当性	有効性	効率性				
			指標	目標値	目標値								
1	配布物活用事業	事業費	736	636	773	10,000	4	3	2	B	観光パンフレット類は毎年度作成せず、在庫の状態で作成し、配布を効率的、効果的に行っている。掲載内容に更新、修正が生じない間は、改訂費用が不要なので、市内外のイベントや公共施設での配布を積極的に行うことで、情報発信の強化に努めているが、より経費を抑える方法として、紙媒体のページ数は減らし、インターネット上のサイトに誘導するなどデジタル媒体への転換も調査検討していく。		
		配布数	3,200	5,500	10,000								
			7,800	14,800	12,700								
2	蓮のみちバスツアー事業	事業費	527	626	471	8	2	5	4	A	当該事業をきっかけに市内外を問わず市の観光に興味を持つきっかけとなっているが、蓮の生育状況やその年の気候によって反応は大きく変わる。アンケート実施による効果測定、ツアー内容を改善し、参加者の満足度向上を目指す。		
		広報媒体数	5	7	7								
			5	6	7								
3		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください。											
4		事業費											
		活動指標を設定し、その内容を記載してください。											
事業費(決算額)の合計			1,263	1,262	1,244								
事業費(決算額)の内訳	特定財源(国・県支出金、市債など)		0	0	0								
	一般財源		1,263	1,262	1,244								

○(重点化)、△(非重点化)、×(廃止)



【参考】令和7年度新規事業

番号	事務事業名	指標	令和7年度	
			予算額(千円)	目標値
1				
2				
3				

重点化評価で、「○」「△」「×」をつけた理由と今後の具体的な方向性